

2023年度 学校講話実施報告

コロナ禍で20年度より3カ年実施出来ませんでしたが、5類引き下げに伴い「講話」の実施の受け入れが可能となり、学校との地域活動でコンタクトのある理事の働きかけをいただき下記の4校で実施しました。

2023年11月 緑ヶ丘小6学年、

2024年1月 緑陽中2学年

〃 2月 双葉小6学年・北の台小6学年



<小学校・実施での課題>

- ① 欲張りすぎて、内容の量が多過ぎたこと。そのため後半が駆け足となってしまった。
- ② 一方的な説明者の話は、児童には不慣れで若干の対話的要素が必要と感じた。
- ③ 小学校ではクラーク博士来道のいきさつを1つの重点としたが、時間の制約と理解度を考慮し、より精選し重点を2つに絞りゆとりを持つ方向で次年度検討したい。

<中学校・実施での課題>

- ① 中学生ということで、あれもこれもと盛りだくさんとなり、全体的に上滑りの説明となった。
- ② 緑陽中のご要望の「生徒が考え・発表する」場面設定が不慣れも有り不十分であった。

(生徒からの要望・感想)

- ・分かりやすい工夫がほしい
- ・質問して欲しかった
- ・飛ばした所が聞きたい
- ・知らないことも有り良かった
- ・ためになる話だった
- ・校則無しに驚いた

- ・博士の札幌農学校は、今と同じような新しい教育をしたんだ（発表、実習、フレンドリーな関係）
 - ・今までぼんやりしたイメージだったけど、説明を聞いて人生を豊にするすごい言葉だと感じた
- ③ 「大志に込められた博士の願い」を、クラーク博士の札幌農学校での実践から「帰納的に推論する」構成でしたが、他の内容も有り50分の時間では欲張りすぎでした。メインテーマに絞ってより精選した内容検討が必要と感じた（24年度の活動推進チームの最重要課題）

<児童・生徒のアンケートから>

「北広島市がThe ambitious city としていること」の認知度が意外と低かった。

北広島市のThe ambitious cityを「知らなかった」との回答数：

緑陽小6年 30名中20名

緑陽中2年 25名中16名

(生徒の感想)

- ・内容が多すぎて、むずかしかった
- ・「大志」についての説明がむずかしかった

第4回クラーク博士別れの日 記念パネル展

とき：4月22日(月)～26日(金)

(9時から17時まで、初日13時から、
最終日15時まで)

ところ：北広島市エルフィンパーク
(JR北広島駅東西連絡通路)

同時開催：記念コンサート

“こころ奏でる・コンサート”

4月22日、23日、25日14時～

★ギター弾き語りとエアロフォン演奏

“さんちゃんと寄り添いいつか開花”

4月24日14時～

★ラティシユバンド演奏